

伊那民俗

第 144 号

柳田國男記念伊那民俗学研究所

目次	・大宮五十鈴神社の例大祭（福澤友美）……………	2
	・『先祖の話』を読む（北原いずみ）……………	5
	・研究所トピックス2025年10～12月……………	6
	・当研究所の財務状況について（平栗豊久）……………	7
	・表紙写真解説（岡庭圭佑）……………	7



幸法（さいほう）の舞 柔和な翁面で、最も格式が高いとされ、かつては伊東家の当主が務めた。舞の途中でホッショウと呼ばれる木の棒を女性にこすりつけて回る。子孫繁栄を祈るまじないである。



新野の雪祭 競馬（きょうまん） 新野の雪祭に登場する競馬は、非常に人気の高い役である。素面の二人が馬に乗った形で舞うが、矢を放つときには横を向いた状態で前後に跳ぶ。そのため「馬の横跳びを見たけりゃ新野の雪祭に行け」とも言われる。矢は縁起物として、子どもたちが激しく奪い合い、この矢を取ることができるとその一年はいい年になるとされる。馬の鼻先と騎者の烏帽子にはそれぞれ太陽を表す金紙の丸と、銀紙の三日月が付いている。2016年撮影。（岡庭圭佑）

伊
那
民
俗

第百四十四号
定価三〇〇円

会費 | 普通会员 年三、〇〇〇円・賛助会員 年一〇、〇〇〇円
入会方法と申込先 伊那民俗学研究所事務局に会費とともに申込む
会費振込先 郵便振込 00550-3-39805

発行

柳田國男記念伊那民俗学研究所
〒395-0034 飯田市追手町二一八五五
飯田市美術博物館気付
E-mail: inaminken@gmail.com



HP